

若宮 I 遺跡の発掘調査

遺跡内で2回目となる今回の調査区は、5区、計1,637㎡が発掘され、古墳時代前期の方形周溝墓8基、同時期の住居跡5軒、古墳時代後期の古墳の周溝3基、さらには古墳の墓室である横穴式石室が3基が発見されています。

若宮 I 遺跡の南方約2 kmには、関東地方の古墳時代前期の研究に欠くことのできない熊野神社古墳が存在します。今回の調査成果は、熊野神社古墳とともに、古墳時代の始まりを物語る貴重な情報を私たちに伝えてくれました。



B調査区（便所棟部分）



A調査区（兵舎棟部分）



若宮 I 遺跡 遺跡の北から南を望む

